

やさしい^{ばん}版

ふくしまけん
福島県

こどもまんなか プラン

〈ベコ太郎〉



ふくしまけん しあわ
福島県のこどもたちみんなが 幸 せに
おうえん けいかく
おとなになるのを応援する計画だぞ！
たろう み
ベコ太郎といっしょに見ていくぞ！

みなさんは「こどもの権利」を知っていますか？

こどもがおとなになるまで、自分らしく、元気に、そして幸せに育つていくために必要なこと、それが「こどもの権利」です。こどもの権利は、日本だけでなく、世界中の国々で守っていく約束をしています。

この計画は、福島県でくらすこどもたちの「こどもの権利」を大切に、さらによくしていこうという考えを基にしています。

こどもの権利は大きく4つに分けられます

《生きる権利》

ごはんを食べたり、安全な場所でくらしたりして、元気に生きていけること

《育つ権利》

学校に行き、勉強したり、遊んだりして、のびのびと大きくなれること

《守られる権利》

いじめや暴力、戦争などの心や体を傷つけられるあぶないことから守られること

《参加する権利》

自分の意見を自由に言えて、おとなといっしょに、社会をつくる活動に参加できること

こどものみんなに「こどもの権利って知ってる？」って聞いたら、ほとんどの子が「知らない」って答えたんだぞ！県のホームページでこどもの権利をわかりやすく説明しているから、こどももおとなも勉強して、いっしょに守ってほしいんだな！

▶福島県ホームページ

「こどもの権利について」



目 標

めざせ！こども まんなか ふくしま！

こどももおとなもみんなで
協力して、「こどもまんなか」の
社会をつくるんだぞ！
ベコ太郎もがんばるぞ～！！



すべてのこどもが、こどもの権利を守られながら、自分らしく、将来
おとなになるまで幸せに成長できる「こどもまんなか社会」をつくるた
め、いま、日本中でこどもの成長や子育てを応援する「こども施策」が
進められています。

福島県も、「福島県ならではのこどもまんなか社会＝こども まんなか
ふくしま」をめざして、県が取り組む「こども施策」をまとめました。
それが、この「福島県こどもまんなかプラン」です。

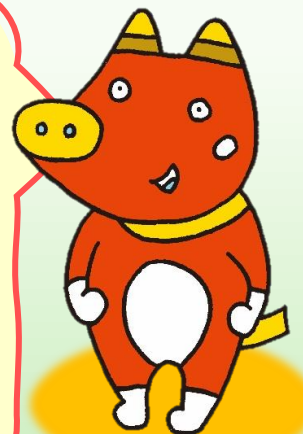
ちょっとおしえて！ベコ太郎！

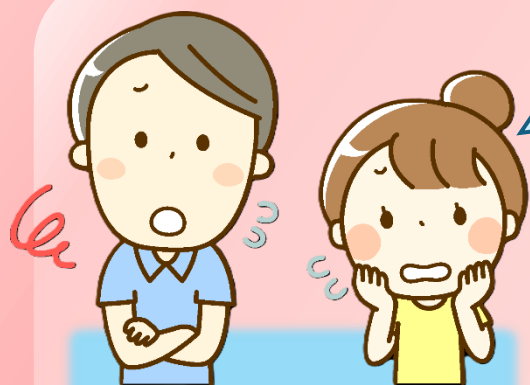
「こども」はいつまで「こども」なの？



こどもは「心と身体が成長している途中の
人」のことだぞ。こどもは、それぞれの個性に
合わせて成長していくから、この計画では「こ
どもは何歳まで」とは決めていないんだな。

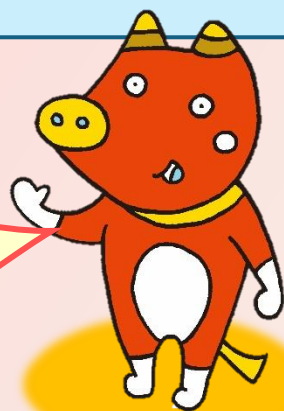
「こどもまんなか社会」は、こどもがおとなに
なるまで、みんなで支えていく社会のことなん
だぞ！





「こどもまんなか」に向けて、こどもが中心
の「こども施策」を進めるってことは、子育て
をする親やおとなは助けてくれないの？

そんなことはないんだな！下の黒板に、この計画の
基本理念(いちばん大切にしている考え方)を書いた
から、しょうかいするぞ。



基本理念

「こども まんなか ふくしま」の実現
こどもも親も 幸せいっぱい！
家族まるごと応援計画

応援するのはこどもだけじゃないぞ！
こどももおとなも親もいっしょに、家族
みんなをまるごと応援するんだぞ！



福島県は、こどもと、こどもを育てている方のそれぞれを対象に「どんなこと
が幸せにつながっているのか」を調査しました。すると、こどもの幸せと親の幸
せは、とても強くつながっていることがわかりました。こどもが幸せに育つため
には、親子がいっしょに幸せでいることが大切です。だから福島県は、こどもだ
けではなく、「家族まるごと」応援することを特に大事にしています。

家族をまるごと幸せに！4つの「重点テーマ」

県内の子どもと親を対象にした幸せについての調査結果を分析すると、子どもにも親にも共通する「**家族の幸せのもと**」が見つかりました。そこで福島県は、この「**家族の幸せのもと**」をもっと充実させるため、4つの「**重点テーマ**」（特に力を入れて取り組むこと）を設定しました。このテーマにそってさまざまな子ども施策を進めることで、子どもも親もまるごと幸せな「子ども まんなか ふくしま」の実現をめざします。

心身の健康

心と体の健康は、幸せな生活にかかせません。そのため、親子の健康を守ったり、病気になったら病院に行けたり、こまったときに気軽に相談できたりすることが大切です。



将来への希望

子どもが、自分の将来に希望をもてること。親が、子どもの将来の幸せを期待できること。このように将来を明るく思い描けることが今の幸せにつながっています。



家庭の愛情

子どもにとって、家族に愛されている、家族に支えられているという実感はなくてはならないものです。そのため、親子でいっしょに過ごす時間をとることが大事になります。



生活の満足感

住んでいる地域で心地よく安心して暮らせること、特に子どもは、学校生活が楽しく充実していることや、自分の気持ちや考えをおとなに聞いてもらえることが大切です。



家族みんなが幸せになるにはどうしたらいいか、大切なことは何か、しっかり考えてつくられた計画なんだな！



こどもが^{しゅやく}主役！こどもの^{こえ}声から^{みらい}未来をひらく ～こどもまんなかアンケート～

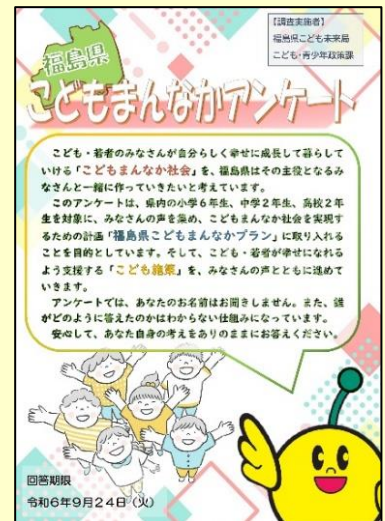
こどもには「参加する^{さんか けんり}権利」があります（→P.1）。これは、こどもが^{じぶん かんけい}自分に関係のあることについて自由^{じゆう いけん}に意見を言えて、おとなにそれを大切^{たいせつ}にしてもらえることや、おとなといっしょに^{しゃかい}社会をつくる活動^{かつどう}に参加^{さんか}できる権利^{けんり}のことです。

こども^{しさく}施策は、こどものためのものだからこそ、こどもの声^{こえ}を大切^{たいせつ}にしながら進^{すす}めていかなければなりません。

そこで福島県では、県内すべての小学^{しょうがく}6年生・中学^{ちゅうがく}2年生・高校^{こうこう}2年生を対象^{ねんせい}に、「自分の将来^{しょうらい}のこと」や「^{ちいき}くらしている地域の^{しあわ}こと」、「いまどのくらい幸^{さい}せか」などについて聞く「こどもまんなかアンケート」を毎年^{まいとし}行^{おこな}うことにしました。

このアンケートで集^{あつ}まったこどもたちの声^{こえ}をしっかりと受け止めて、計画^{けいかく}やこども施策^{しさく}をどんどん進^{しんか}化させていきます。

令和6年度に行^{れいわ ねんど}ったアンケートのチラシ



みんなの^{こえ}声^{こえ}が、「こども まんなか ふくしま」をつくるエネルギーになるんだぞ！だから、学校^{がっこう}からアンケートのお願い^{ねが}が^{とど}届^{ちから}いたら、ぜひ力^{ちから}をかしてほしいんだな！



こどもがおとなに、そして親になるのを応援！

～世代をつなぎ、未来をつくるこども施策～



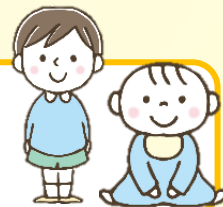
この計画のこども施策は、こどもが成長しておとなになり、結婚・出産してこどもを育てるまでのそれぞれに時期に合わせてつくられています。こうすることで、こどもの成長に合わせた支援ができますし、子育て中の親もいっしょに支援できます。さらに、ひとりのこどもが生まれ、おとなになり、今度は自分が親になってこどもを育てる。そんな世代がつながっていくサイクル全体を支える計画にもなっています。

こどもが元気に大きくなって、おとなになるまで応援したら、今度はその子が親になって、こどもを育てるのをお手伝いするんだな。これって、福島県にくらすみんなの未来をつくることにつながっているんだぞ。次のページからは、この計画にどんなこども施策があるのか、しょうかいしていくぞ！





たんじょうまえ ようじき こどもの誕生前から幼児期まで

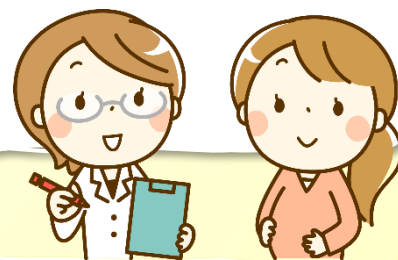


かあ けんこう まも お母さんとあかちゃんの健康を守る

▶ あかちゃんが生まれる前から、お母さんとあかちゃんの健康づくりを応援します。

▶ 産科・産婦人科の医師や病院を整えて、妊婦さんが安心して出産でき、あかちゃんが元気に生まれてこられるようにします。

▶ 妊娠・出産・子育てで不安なことや悩みごとがあったら、相談のったり、必要なサポートをしたりします。



ほいく ようじきょういく じゅうじつ 保育・幼児教育の充実

▶ 保育所や認定こども園に入りたいこどもがみんな通えるように、新しい保育施設をつくったり、保育士を集めたりします。

▶ みんながのびのびとあそべるよう、保育施設の園庭や遊具をもっとよくしていくお手伝いをします。

▶ 保育士や幼稚園の先生が、よりよい保育や幼児教育ができるよう、専門的な知識やスキルを身につける

ための研修会を開いたり、働きやすい職場づくりを進めたりします。





がくどうき ししゅんき 学童期・思春期

がっこうきょういく せいかつ じゅうじつ 学校教育と生活の充実



- ▶ こどもたちの成長に合わせた学力向上に取り組めます。
- ▶ こどもが進みたい道を進めるように、専門的な知識やスキルを身につけ、さらにそれを活かす力を高めます。
- ▶ こどもや親に健康的な食生活を広めたり、よい食習慣を身につけたりするための活動を充実させています。
- ▶ さまざまなクラスのこどもたちが、交流したり、いっしょに遊んだり、勉強したりする機会をつくります。
- ▶ いじめの防止や、不登校のこどもを支援します。



いばしょ こどもの居場所づくり

- ▶ こどもが安心して過ごせるさまざまな居場所づくりを進めます。
- ▶ こどもみんなが放課後を安全に安心して過ごし、いろいろな体験・交流活動ができるよう取り組めます。

しょうらい じりつ む 将来の自立に向けて

- ▶ 将来の夢や目標を考えられるように、仕事の体験や、将来のために必要なことを学ぶキャリア教育を行います。

しょうにいりょう 小児医療とこころのケア

- ▶ こどもが病気やけがをしたときに安心して見てもらえるよう、小児科の医師や病院を整えて、おずかしい病気やけが、そして救急にも対応できる体制をつくります。
- ▶ 性や健康のことで悩んでいる人の相談にのったり、こころを楽にするお手伝いをしたりします。





せいねんき 青年期



しょうらい けいせい しゅうろうしえん 将来のキャリア形成と就労支援

- いし かいごし ほいくし がくせい べんきょう ひつよう
医師や介護士、保育士などをめざす学生に、勉強をするために必要な
かね しゅうがくしきん か だ
お金（修学資金）を貸し出します。
- わか ひと ふくしまけん あんしん しょうらい ゆめ はたら
若い人が福島県で安心して、やりがいや将来の夢をもって働ける
ように、ちいき みりよくてき きぎょう はたら ひと しょうかい
地域の魅力的な企業やそこで働く人たちのことを紹介したり、
わかもの きぼう しごと しんろ きぎょう わかもの
若者の希望する仕事や進路についてアドバイスをしたり、企業と若者を
つないだりします。
- じよせい じぶん のうりよく はつき かつやく
女性が自分の能力を発揮して活躍できる
かんきょう すす
環境づくりを進めます。



で あ けっこん きぼう 出会い・結婚の希望をかなえる

- けっこん のぞ かた きぼう ふくしまけん うんえい
結婚したいと望む方が希望をかなえられるよう、福島県が運営する
けっこん
結婚マッチングシステム「はびふなび」や、こんかつ こうりゅう
婚活・交流イベントをと
した出会いのチャンスを ていきょう
提供します。
- けっこん あたら せいかつ はじ ひと いえ か
結婚して新しい生活を始める人が、家を買ったり、
か
借りたり、ひっこしをしったりするときにかかる ひよう
費用を
しえん
支援します。



すべての時期を通した支援

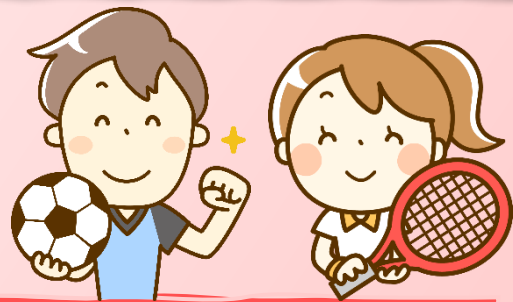
こどもの権利の尊重



▶ こどもの権利についてみんなに知ってもらうため、イベントを開いたり、学校で人権について学ぶ授業を行ったりします。また、こどもが自分の意見や考えを伝えられる機会づくり、その声を県の取り組みに活かしていきます。

あそびや体験活動づくり

▶ こどもが思い切りあそべる環境づくりや、地域の自然・文化を活かした体験活動ができる機会をつくります。

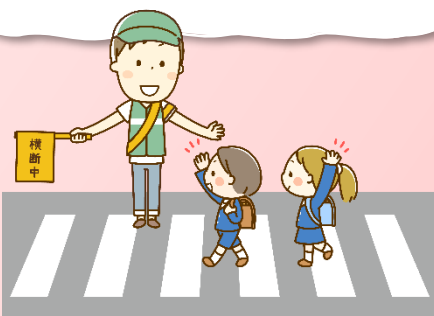


こどもの活躍を応援

▶ こどもが自分の長所や才能をのびのびと発揮して、未来を自分の力で切りひらいていけるよう応援します。

危険からこどもを守る

▶ 犯罪や事故、災害などの危険から、こどもの安全といのちを守ります。



困難をかかえるこども・家族への支援

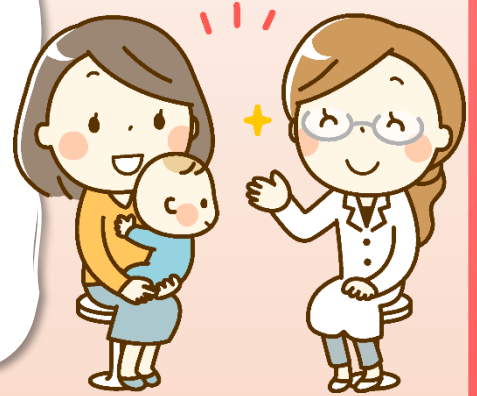
▶ 服や食べものにこまっている、周りからつらいことをされている、家事や家族の世話で自分の時間がないなど、困難をかかえ、特別な支えが必要なこどもや家族を助けます。

こ そ だ し え ん 子育ての支援

け い ざ い て き ふ た ん し え ん 経済的な負担をやわらげる支援

➤ 3歳から5歳のこどもが通う保育所などの利用料や、
18歳までのこどもの医療費を無料にします。

➤ 経済的に苦しい家庭のこどもが学校に通えるよう、
お金を貸したり、授業料を減らしたりします。



し ご と こ そ だ り ょ う り つ 仕事と子育ての両立

➤ お父さんとお母さんが協力して子育てをしながら
仕事もできるように、子育てのためのお休みをとりやすく
するなどの企業の取り組みを応援します。

➤ 男の人でも進んで家事や育児をする／できるよう後押し
します。

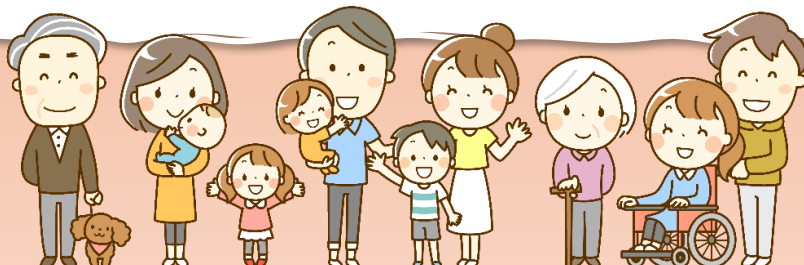


ち い き こ そ だ し え ん 地域ぐるみの子育て支援

➤ 家族や子育てのことで悩んでいたり、不安やストレスを感じている人
の気持ちに寄りそって相談にのったり、サポートをしたりします。

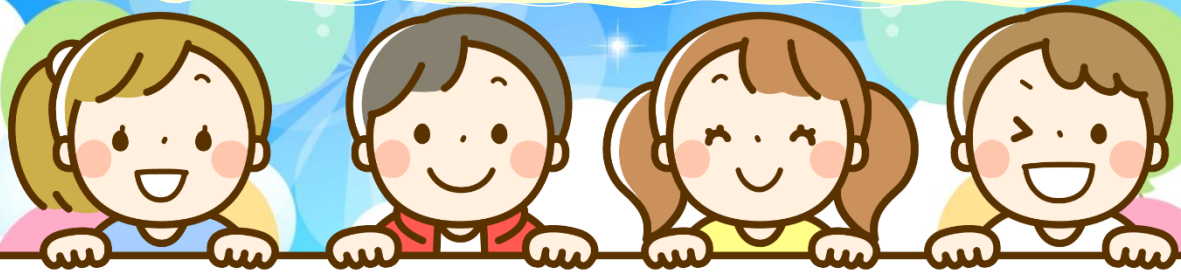
➤ 地域で必要とされている子育てを助ける活動を応援します。

➤ 地域のみなで子育てを応援しようという気分を盛り上げます。



《おわりに》

県民のみなさまへのメッセージ



「こどもまんなか」は夢と希望のあいことば
～県民みんなで、ふくしまの未来をつくっていこう！～



こどもたちの前には大きな未来が広がっています。

その未来を支えるため、こどもをとりまく世界をもっと豊かにして、こどもが夢や希望をもって自分の未来を切りひらいていけるように、みんなで応援していく。それが、この計画のめざしている「こどもまんなか社会」のかたちです。

こどもをまんなかにして社会をつくっていくと、地域や、そこに暮らす人々にも夢や希望が届き、地域全体に活力を生み出します。そしてそれは、こどもだけでなく、すべての人の幸せにつながっていきます。そのためには、国や県などの自治体だけでなく、地域のみんなが一丸となって取り組む必要があるのです。

こどもをまんなかにとすると、こどもだけじゃなくて、すべての人の未来がどんどん明るくなっていくんだぞ！だから、おとなもこどもも、自分にできることを考えながら、力を合わせて、みんなで福島県の明るい未来をつくっていこうな！

